City of Kita

北区
SDGs推進企業取組事例集
令和6年度

KITA CITY SDGs認証

北区 SDGs 推進企業 取組事例集
令和6年度

目　次

北区長あいさつ …… 2
北区SDGs推進企業認証審査会会長あいさつ …… 3
北区SDGs推進企業認証制度とは …… 4
SDGs推進企業に対する支援策 …… 7

事例紹介 …… 8

01 株式会社玉越工業 …… 9
02 玉川食品株式会社 …… 10
03 株式会社エガワ …… 11
04 有限会社給食普及会 …… 12
05 あみ印食品工業株式会社 …… 13
06 株式会社スマイエ …… 14
07 王子ゴム株式会社 …… 15
08 有限会社ビービーエススズキ …… 16
09 税理士法人ガイア …… 17
10 恒栄電設株式会社 …… 18
11 株式会社ゴカ …… 19
12 株式会社カクヤスグループ …… 20
13 株式会社なとり …… 21
14 株式会社さくら総合福祉 …… 22
15 アネス株式会社 …… 23
16 株式会社ぷらっとマルシェ …… 24
17 税理士法人西川会計 …… 25

認証企業の声 …… 26

北区長あいさつ

東京都北区長

やまだ加奈子

これからの時代において、経済と環境の好循環により地域力を高めていく必要があり、産業活性化と社会的貢献の両立に取り組む事業者への支援を行うべく、北区では令和5年度に23区初となるSDGs推進企業の認証制度を創設しました。SDGsの理念に賛同し、推進している企業等を「東京都北区SDGs推進企業」として認証する制度です。

東京都北区から日本を導いた北区ゆかりの偉人である渋沢栄一翁は、「持続可能な経済の発展は道理・道徳を伴うべき」と説いています。北区もこの精神を受け継ぎ、新しい時代に必要とされる事業者の取組を支援することにより、区内企業等の成長・価値向上を図るとともに、地域経済の持続可能な発展や社会課題の解決につなげていきたいと考えています。

その支援の一環として、制度において認証された26企業の中から17社のSDGsの取組をまとめた本事例集を発行し、認証企業の取組をご紹介させていただきます。

本事例集をきっかけに、SDGsを推進し、地域の活性化にも寄与されている魅力ある企業やその取組を知っていただければ幸いです。

結びに、本事例集の発行にあたり、ご協力いただきました企業の皆様に心から御礼申し上げます。

北区SDGs推進企業認証審査会会長あいさつ

北区SDGs推進企業認証審査会会長

永沢　映

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで全会一致で可決された「誰一人取り残さない」ことを目指している、17のゴール169のターゲットからなる持続可能な国際目標です。

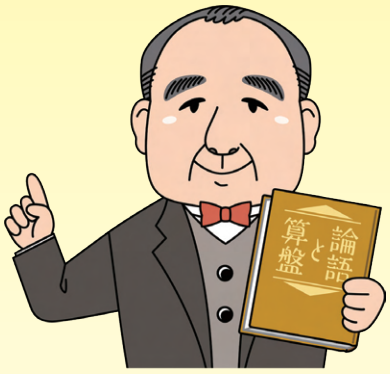
東京都北区SDGs推進企業認証制度は、国際目標として示されているSDGsを企業向けに整理して明示しているものであり、国が示すSDGsの「宣言」「登録」「認証」の三段階の制度の中で最もハードルの高い制度となっています。この認証制度への申請の過程で、自社のSDGsは何がどの程度果たせていて、何が足りていないのかを具体的に理解することができます。

現代では、企業はコンプライアンス順守に加え、労働者、取引先、従業員、地域をはじめとした関係者に、優しく適切に関わっていくことが必要不可欠な社会となっています。それを学び、実践するための認証制度となっております。

私は約20年に渡り、北区で創業支援に関わってまいりました。その中で実感するのは、多くの区内企業、事業者は北区に愛着を持ち、地域と一緒に成長を目指しています。

SDGsの実践は、まさに企業が売上・利益を高め、さらに企業価値を上げ、地域と一緒になって魅力的に成長するための指標でもあります。本事例集を活用して、一つでも多くの北区の企業、事業者がSDGsを学び、実践し、一緒に地域を発展して行けることを期待しております。

東京都北区SDGs推進企業認証制度とは



渋沢栄一翁

SDGsの理念を尊重し、事業を通じてSDGsを達成するため、社会・環境・経済の3つの側面を含んだ取組を実践する企業等を、東京都北区SDGs推進企業として認証します。また、認証企業のSDGsに貢献する積極的かつ継続的な取組をより発展できるよう、様々な支援を行います。こうした活動の促進によって区内企業等の成長・価値向上を図り、地域の活性化や事業者の継続的な発展及び社会課題の解決に寄与することが本制度の目的です。

北区ゆかりの偉人である渋沢栄一翁は、「持続可能な経済の発展は道理・道徳を伴うべき」と説いています。SDGs実践の先駆者といっても過言ではない渋沢栄一翁の精神を受け継ぎ、新しい時代に必要とされる事業者の取組を支援します。

KITA CITY SDGs認証

認証制度のロゴマークは、渋沢栄一翁の「論語と算盤」をモチーフに、北区の頭文字「K」をイメージしています。

区内事業者の皆様へ

SDGsは、2015年に国連総会において全会一致で採択された地球規模の目標です。2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲットで構成され、貧困の撲滅、地球環境の保護、全ての人々の平和と繁栄の実現を目的とした包括的な行動計画です。国内においても、教育機関やメディア、SNS等を通じてSDGsが以前よりも身近な話題になっているのではないでしょうか。

令和5年度に施行された本認証制度では、北区内のSDGs推進企業の皆様が、持続可能な経営に向けた素晴らしい取組を進めています。例えば、地域の企業にとって大きな課題の1つである人材不足に対して、社員の働きやすさや採用方法の改善に向けた取組、また、これまで廃棄物として処分していたものに価値を見出し、地域の教育やコミュニティに還元しようとする取組など、本制度には数多くの挑戦が集結しています。このような取組は、これまでの資本主義の考え方を将来のニーズや外部環境に適応していこうとするパラダイムシフトであり、先行事例が少ないがゆえに困難を伴うものであると考えます。

このような先進的な取組も、単独で行うよりも共有し合いパートナーシップを構築することで、大きな成果につながることは言うまでもありません。北区では、SDGsを共通言語とした新たな地域経済の発展に向け、本事例集の発行やSDGs推進企業によるコミュニティ活動をはじめ、認証を受けたSDGs推進企業の皆様の声を受けながら、支援の拡充を図っていきたいと考えております。多くの区内企業の皆様の参加をお待ちしています。

認証制度に参加するには

本制度に参加いただくためには、募集期間中に申請いただき、第三者機関による審査を経て認証を受ける必要があります。ここでは、認証を受けるまでの流れをご案内します。詳細は、「申請の手引き」をご覧ください。

URL: https://www.city.kita.tokyo.jp/sangyoshinko/sangyo/chiiki/sdgsninsyo/index.html

（次ページの二次元コードからもご覧いただけます）

【申請】

STEP 1	申請要件の確認	北区が認証企業に必須と考える8項目(第3号様式第1面に記載)の申請要件を満たしているか確認します。
STEP 2	SDGsチェックシートの作成	自社におけるSDGsの取組状況を、SDGsチェックリスト(第3号様式第2面)を用いて確認します。対象項目のうち、70%以上にチェックされていることが認証の要件となります。
STEP 3	SDGs達成目標の作成	認証企業として取り組む3つ以上のSDGs達成目標を設定します。（うち1つ以上は「地域社会への貢献」に関連するもの）
STEP 4	必要書類の提出	申請に必要な書類を揃え、データで北区に提出します。

【認証審査】外部有識者等により構成される第三者機関による審査を踏まえ、区長が認証します。
【結果通知】審査の結果が郵送で通知されます。
【認証式】認証された企業に認証書を授与します。

●認証対象は北区内に本社を有し事業を営む会社・個人事業主に加え、支店を北区内に有し事業を営んでいる会社・個人事業主も含まれます。本拠地が北区ではない事業者も認証の対象であり、申請することができます。

●申請にあたっては、お問い合わせ窓口を設置しています。「SDGsが何か分からない」、「申請書の記入方法に不明点がある」、「目標がSDGsと結びついているか不安」など、認証制度に関するあらゆるお問い合わせを受け付けております。事業者様の認証取得に向けて丁寧に対応いたします。

●認証の有効期限は3年です。更新の申請をしていただくことで、認証の継続が可能です。

●申請書類第3号様式のチェックリストは、地域の企業がSDGs経営に取り組むにあたって必要な視点が網羅的にまとめられたもので、チェックをつけていくことで自社のSDGs経営における現在地を把握できるツールです。本制度への申請に関わらず、ぜひ一度ご覧いただき、SDGsが地域の企業に何を求めているのかを確認することにお役立てください。

認証企業になると

認証企業になると、以下のようなメリットがあります。

◆認証ロゴマークを使用することができます。
名刺やHP等にロゴマークを付すことで、SDGs推進企業であることを社外にアピールでき、社内の理解促進にもお役立ていただけます。

◆SDGs取組事例集をはじめ、企業の取組を「見える化」する資料を作成します。
関係者とのコミュニケーションにご活用ください。

◆認証式にて、認証書を授与します。
認証式では、同期に認証された企業と名刺交換などを行っていただけます。

◆認証企業の企業名や取組を北区HP、区報などで広報します。

◆北区SDGsコミュニティに参加できます。
勉強会や交流を通じて時代の潮流を捉えることができます。

◆事業運営資金調達のための区融資制度として、「事業活性化支援資金」を利用できるようになります。（別途要件あり）

その他、認証企業の皆様の声を取り入れながら支援の充実を図ります。

▲令和5年度認証式

北区ＳＤＧｓ推進企業
認証書

認証番号：第 0001-0 号

株式会社〇〇　様

東京都北区ＳＤＧｓ推進企業認証制度実施要綱に基づき、東京都北区ＳＤＧｓ推進企業として認証します

認証期間：令和６年１月19日から令和10年３月31日まで

令和６年１月19日

東京都北区長　山田　加奈子

▲認証書サンプル

制度の詳しい情報や申請書類の様式は北区ホームページをご覧ください

北区　SDGs認証　検索

«北区ＨＰ»

SDGs推進企業に対する支援策

本制度では、SDGs推進企業として認証された区内企業に対して、様々な支援を実施しています。その中でも、令和6年度に開始した、認証企業による「北区SDGsコミュニティ」と、本誌「北区SDGs推進企業取組事例集」について紹介します。

北区SDGsコミュニティ

「北区SDGsコミュニティ」は、区内でのSDGsの取組を広げ、地域全体のSDGs達成につなげていくことを目的として、企業のSDGsに対する認知度やモチベーション向上を図り、認証企業のSDGs経営の実践による「企業の持続可能な成長」につなげ、企業間の連携により「地域の持続可能な成長」を目指します。

令和6年度第1回のコミュニティ活動は初回の開催ということもあり、認証企業同士の交流を重視して企画しました。参加企業は、それぞれのSDGsに関する取組内容や課題、工夫した点など、情報共有を図りながら交流を深めることができ、参加企業からは大変好評をいただきました。今後は、認証企業のニーズや最新動向を踏まえながらテーマを設定し、定期的に開催する予定です。

▲第1回コミュニティ活動の様子

北区SDGs推進企業取組事例集

SDGs推進企業のPRを目的として、SDGsに関する取組をまとめた事例集を発刊しました。

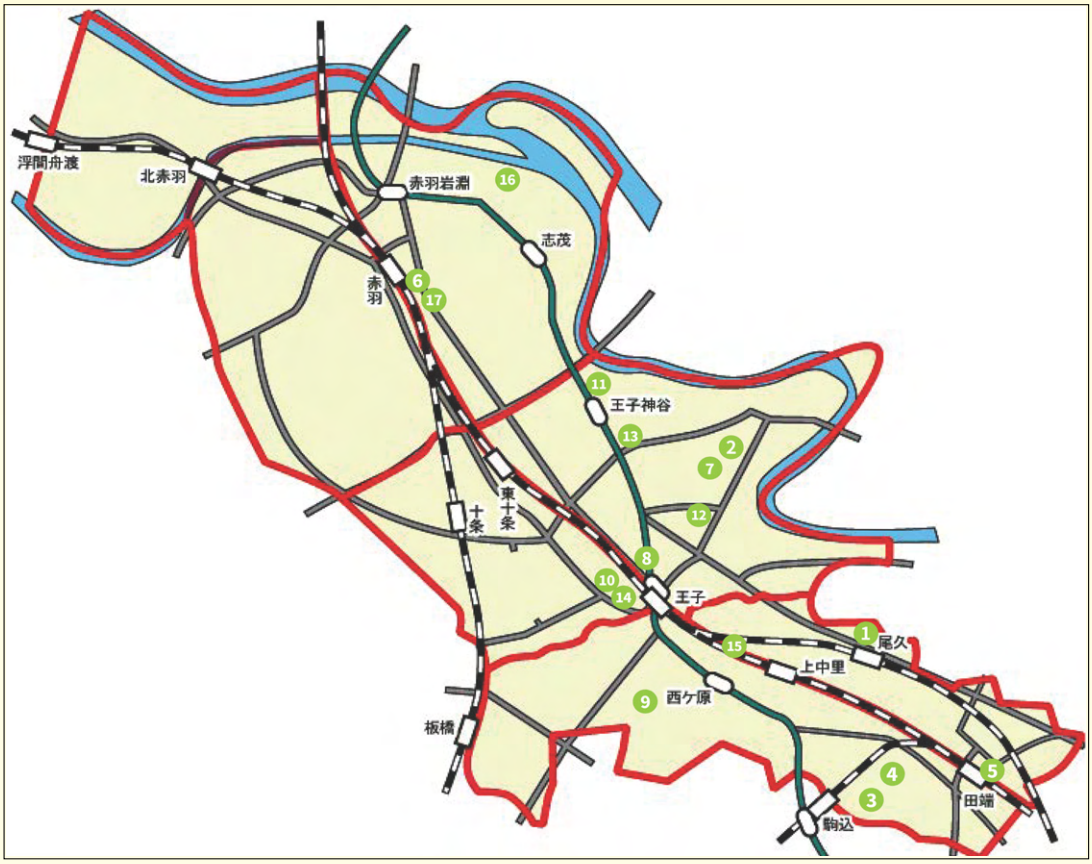
本事例集は、区内の経済団体や教育機関をはじめ各所に配布することにより、認証企業の事業内容やSDGsの取組をPRします。また、各認証企業においては、本事例集を、取引先や求職者等とのコミュニケーションや、社内に対するSDGsの浸透にもご活用いただけます。

事例紹介

■ 掲載企業

No.	企業名	代表者	設立年	区内所在地	業種
1	株式会社玉越工業	佐藤　文将	1959年	北区昭和町2-14-10	製造業
2	玉川食品株式会社	関根　康弘	1950年	北区豊島7-5-12	製造業
3	株式会社エガワ	中里　茂之	1972年	北区中里1-21-2	製造業
4	有限会社給食普及会	高橋　潤	1968年	北区田端5-14-5	卸売業
5	あみ印食品工業株式会社	須田　良雄	2018年	北区東田端1-6-2 田端ビル	製造業
6	株式会社スマイエ	塩飽　博哉	2011年	北区赤羽南1-3-1 高橋ビル6階	不動産業
7	王子ゴム株式会社	安部　真一	1949年	北区豊島7-7-17	卸売業
8	有限会社ビービーエススズキ	鈴木　心一	1955年	北区王子1-14-2 BBSビル	生活関連サービス業
9	税理士法人ガイア	野口　省吾	2006年	北区西ケ原3-48-4 3F	その他（税理士業）
10	恒栄電設株式会社	小林　永治	1955年	北区岸町1-8-17	建設業
11	株式会社ゴカ	五箇　公貴	1913年	北区王子5-18-12	卸売業
12	株式会社カクヤスグループ	前垣内　洋行	1982年	北区豊島2-3-1	卸売業・小売業
13	株式会社なとり	名取　三郎	1948年	北区王子5-5-1	製造業
14	株式会社さくら総合福祉	張原　正義	2018年	北区岸町1-6-19 青葉ビル105号室	医療福祉業
15	アネス株式会社	田中　崇彦	1955年	北区栄町1-3	建設業
16	株式会社ぷらっとマルシェ	椿　克美	2019年	北区志茂5-16-15 第3末広荘	卸売業
17	税理士法人西川会計	西川　豪康	2004年	北区赤羽南2-4-15	その他（複合サービス）

■ SDGs推進企業マップ



株式会社玉越工業

01

事業内容

オリジナル自転車の企画・製造・販売を行っている創業75年の企業です。全国の量販店・専門店に自転車を年間で約15万台販売しております。

■ 住所：北区昭和町2-14-10
■ TEL：03-3800-0430
■ FAX：03-3800-0419
■ URL：http://tamakoshi.biz/

BICYCLE TAMAKOSHI
1950年創業　SG登録工場

自転車の製造台数を増やして脱炭素を目指す！

茨城県にある弊社工場では、自転車を月間に約1500台製造しております。ベルトコンベアで流れてくる製品に手作業で数多くの部品を1つ1つ取り付けていきます。新たな機器やシステムなどのデジタル化により生産工程を簡単にし、全体の生産性を上げ、製造台数を2000台以上に増やす目標達成を目指しております。製造台数が増えることにより1台に掛かる電気や燃料が減り、その結果脱炭素につながります。「製造台数2000台以上」までの道のりは長いですが、新しい機器やシステム等のデジタル導入に力を入れ、目標達成を目指していきます。

▲製造工場

地域との関わりを増やせる企業に！

SDGsアウトレット自転車の販売会を昭和町本社にて行いました。製造過程や納品過程などで小さな傷が発生してしまった商品（乗車には支障が無く、何回か乗車すればできてしまう程度の傷です。）を、地域の方を中心にお求めやすいように安価で販売いたしました。アウトレット自転車として販売することにより、機能には問題のないパーツの破棄を減らすことにつながります。このようなSDGsを打ち出したイベントの開催は、地域の人と直接関わる事ができる機会となりました。2日間で約150台の自転車を販売し、地域の方々の笑顔を見ることができ、普段は直接お客様と関わらない従業員の笑顔も見られ、地域に根差す企業として充実したイベントとなりました。

また、弊社では地域との接点として中学生の職場体験も受入れております。自転車のパンク修理体験や接客体験といった初めての体験をアシストし、地域とのふれあいの機会を提供しております。今までできなかったことができるようになったり、お客様と話したりすることにより、自転車販売の職業を理解していただく機会になっています。

これらの地域との接点を増やす取組を毎年計画的に進めていけたらと思っております。

▲アウトレット自転車

▲中学生の職場体験

玉越工業（たまこしこうぎょう）ってどんな企業？

弊社、株式会社玉越工業は1950年創業で東京都北区に本社を構える総合自転車メーカーです。創業当時は昭和町の小さな工場から始まりました。当時の従業員は、三輪車フレームを製造し問屋に納入する仕事を、朝から晩まで地道に続けていました。そこから少しずつ事業を拡大し、幼児用自転車の製造・販売店との直接取引・大人用自転車の製造・海外での生産委託などを行う企業に成長してきました。現在では幼児用自転車から大人用自転車まで、幅広く自社ブランドの自転車を企画・製造・販売しており、販売店と協力してオリジナル商品の開発も行っています。年間で自転車を約15万台販売し、工場での在庫は1万台近く保有しており、在庫量としては圧巻です。最近では、渋沢栄一翁モデルの自転車等、他には無い唯一の商品を多数展開しており、キャンペーンや企業向けのオリジナル自転車の製造も承っております。茨城県には製造工場もあり、安全・安心な自転車作りに力を入れ、ユーザーが快適で楽しいサイクルライフを送れるよう日々努力しています。更には北区内での取組にも多数参加しており、「北区きらりと光るものづくり顕彰」の受賞や、「北区ワークライフ・バランス推進企業」にも認定されております。今後も、ますます発展できるよう努力していきます。

▲当社の製品

玉川食品株式会社

02

事業内容

宮内庁御用達の東京23区最後に残る乾麺工場であり、昭和10年の創業以来地域に根差した製麺工場として多様な麺づくりを行っております。

■ 住所：北区豊島7-5-12
■ TEL：03-3913-5705
■ FAX：03-3919-8531
■ URL：https://edo-tamagawaya.jp

子供たちの「もったいない」から生まれた食品リサイクル活動

乾麺製造時に必ず出る曲がった麺、通称「クズ麺」。通常は産業廃棄物として廃棄しますが、神奈川県厚木市の株式会社うすいファームとの取組で、食品リサイクルにチャレンジしています。スキームは、「クズ麺」を養豚場の餌にしてもらうことで、食品ロスを軽減していきます。「クズ麺」が栄養価の高い餌として再利用されることで、ブランド豚の育成に貢献するだけでなく、このブランド豚を使った焼うどんを、当社が主催する店頭イベントで販売するという好循環を生んでいます。

食品リサイクル活動▶

乾麺の【ふし】を活用した3Rを実施

皆様、「ふし麺」をご存じでしょうか。乾麺の製造では、生地を伸ばして直線部分を切り落とします。この切り落とされた直線部分が、うどんやそうめんのような商品として販売されます。この際、麺の直線部分ではない、残った部分を「ふし麺」と呼びます。「ふし麺」はうどんやそうめんとして提供することはできませんが、生地を伸ばす時に最も力の加わる部分であるため、強いコシと弾力があり、実は知る人ぞ知るとてもおいしい部分です。この「ふし麺」を北区の小・中学校へ提供し、「ふし汁」という献立にしていただきました。将来的には、北区教育委員会と連携し、北区内20校の小・中学校の給食麺としての提供を目指します。

北区内の小・中学校に提供する「ふし汁」▶

技術製麺を通して子供たちの食育支援に取り組む

当社は北区の教科書に「めんをつくる工場」として載っており、食育活動の一環として北区の小学校の工場見学を受け入れています。子供たちは、普段なじみのない小麦粉の香りや、乾麺製造ラインに吊るされた自分の背丈と同じ位の長さの麺に大興奮しています。また、調整が難しい学校については、オンライン工場見学を実施し、更に中学生向けには職業体験の受入れを実施しています。

▲小学生の工場見学

▲中学生の職業体験

株式会社エガワ

03

事業内容

合紙・抜き加工・色紙加工製造等の印刷物加工業を営んでいます。スピード・品質・エコロジーを軸に、より良いサービスを日々提供・追求しています。

■ 住所：北区中里1-21-2
■ TEL：048-227-3012
■ FAX：048-227-3013
■ URL：https://www.egawa-shiko.co.jp

全ての社員が尊重される会社づくり

人権尊重を基本とした経営を実践しています。具体的には、次のような取組を行っています。

①人権方針に外国籍社員への配慮を掲げ、自社で活躍できるよう、交通規範や日本語の学習機会を提供する。
②人権方針の中で、児童労働・強制労働・雇用及び職業における差別などの課題解決への貢献を示し、FSC認証の要求を満たす水準で取組を継続する。
③経営者と従業員が交渉において対等な関係であることを会社の人権方針として掲げ、努める。

今後は、2025年3月までに経済産業省による「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」を参考に、自社で取り組むべき人権課題を明らかにする予定であり、より良い経営体制を築いていきます。

▲末永くお付き合いしていただけますよう
社員一同頑張ってまいります

次世代を考えたエコロジーな製造会社

私たちは「次世代の合紙」をテーマに、常に環境対策を考え、環境配慮経営を推進しています。具体的には、以下の取組を実施しています。

①廃棄段ボール、CP（チップボール・紙器用板紙）、スチレン（発泡スチレン素板）の抜き加工後のくず回収における分別管理と、業者引き取りにおける白紙・ワンプ（梱包紙）・PP加工紙（フィルムコート紙）・黒紙などの分別管理を実施しています。
②3Rの推進として、資材の利用においては、リサイクルされたダンボール・CP・スチレンを購入しています。エコ商品は、一般品と比較してコスト・価格ともに変わりません。また廃棄くずは、古紙回収業者が引き取り、ダンボールメーカーが買い取るので、資源循環の中で事業活動を行える環境を整えています。
③環境学習を実施しています。
④「エコマーク加工の工場」の認定を取得し、合紙後のPOPにエコマークを入れています。これにより、企業の環境への取組をアピールしています。
⑤会社近辺の清掃活動を毎週実施しています。
⑥全ての工場でLED照明を導入しています。
⑦当社はFSC認証を取得しており、責任ある木材資源を使用したディスプレイを制作しています。これにより、FSC製品の販売を通じて森林環境の保全に貢献しています。

これらの取組に加えて、私たちは「彩の国工場」に指定されています。これは、地域に愛される工場づくりを進めるため、周囲の環境に配慮し、ものづくりへの親しみや理解、興味を喚起し、地域交流の場を提供するなどの社会貢献に努める工場を埼玉県知事が指定するものです。環境保全や地域貢献に関する条件を満たすことで指定されます。

このような取組は、環境への貢献度を向上させ、地域との信頼関係を構築し、私たちの社会的価値を高めています。

SAI-NO-KUNI
彩の国工場

▲大野県知事と「彩の国工場」指定式にて

有限会社給食普及会

04

事業内容

学校給食用食材を専門に取り扱う販売会社です。学校給食に対して『安全・安心・高品質』をテーマに50年以上にわたって事業活動をしております。

■ 住所：北区田端5-14-5
■ TEL：03-3823-2251
■ FAX：03-3823-2253
■ URL：http://www.kan-q.or.jp/member/fukyukai/

学校給食だからできる食育の取組

子供たちの笑顔を育む食育を提案しています。一言で食育といっても食材を通じて行う場合、テーマを決めて行います。

テーマは、フェアトレード・地産地消・環境・食品ロス・出前授業等です。当社では、学校の栄養教諭・単元の教諭・栄養士・調理師の方々に各種提案を行います。使用する食材や献立に合うように、教材の無償提供又は、出前授業を実施しています。東京の伝統野菜である練馬大根・滝野川ごぼう・大蔵大根などの野菜の栽培も、農家さんと契約しています。子供たちが見て、触って、食べて食材の基本を学んでいます。食育推進と栄養バランスの取れた学校給食実現の一翼を担い、子供たちの笑顔を育んでいます。

▲社員による伝導師出前授業

▲天然と養殖の鯛の違いを体験

▲練馬大根

▲滝野川ごぼう

給食普及会のSDGsいろいろ

給食普及会のSDGsの取組は、地球環境・社会・人（従業員）・会社・経済（流通）の5部門で構成されています。取組は、以下の他にも多岐にわたり推進しております。

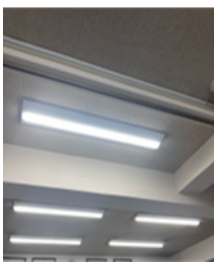
食品ロスの削減・社内電灯のLED化・出前授業実施・再生可能電力の導入・フェアトレード商品・フードマイレージ削減・地域社会交流・伝統野菜の契約栽培・地産地消・各種資格の取得・HACCPに準ずる衛生管理・郷土料理食材紹介・サステナビリティ商品紹介・特別栽培野菜紹介・リスクマネージメント・社内コンプライアンス・労務管理・食育教材の無償提供・国産国消など

今もこれからも、給食普及会は未来の子供たちに素晴らしい社会環境と美しい自然を残すため、継続して商品開拓と営業活動を実施してまいります。

▲フェアトレード商品

▲江戸川産小松菜

▲東北の郷土食材


▲社内LED

▲各種資格取得

あみ印食品工業株式会社 05

事業内容

家庭用・業務用「粉末清涼飲料・液体調味料・粉末調味料・粉末食品・調味料油脂」の製造。1952年創業『老舗の味』を世界各国でお楽しみいただいております。

■ 住所：北区東田端1-6-2　田端ビル
■ TEL：03-3894-4161
■ FAX：03-3810-0717
■ URL：https://www.amibrand.co.jp/

▲2023年つくば工場に設置した太陽光パネル

環境への優しさ

日本のエネルギー源の多くは海外から輸入される化石燃料であり、国や電力会社は、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの普及を進めています。この流れを受けて、エネルギーを使用する側である私たちも再生可能エネルギーを利用していくことが重要であると考えております。弊社の取組として、2023年にはつくば工場に太陽光パネルを設置しました。つくば工場では、休日でも冷凍庫などの使用により電力が必要です。この休日分の電力使用量を太陽光パネルで賄っています。

また、弊社はISOの食品安全マネジメントシステムに関する国際規格であるFSSC22000の認証を取得するなど、環境に優しい企業としての取組を進めています。今後も、環境に優しい企業として、日本だけでなく世界に向けても発信できる企業活動を実施していきます。

未来に向けて

弊社では、3か年事業計画として「ずっと働き続けたい会社」をテーマに、人事制度改革を実行しました。

- 社員ごとに人事評価と連動した目標シートを作成しました。目標シートの導入は、次世代の育成も目的としています。
- 毎年度新入社員を迎えることを目標に、積極的に採用活動を実施しています。2024年度は、本社に2名、工場に1名を新入社員として迎えました。
- 一般事業主行動計画として、子育て中の従業員等の職場生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備に取り組んでいます。
- 少子高齢化社会に対応するため、これまでの65歳再雇用制度を70歳までの雇用制度に変更するよう検討を進めています。

「ずっと働きたい会社へ」 あみ印

当社の技術力

ロングセラー商品を中心に、家庭用製品、液体製品、小袋製品などお取引先様に合わせてスピーディに企画・開発できる事が弊社の強みです。また小売業を中心にOEM製品の製造もしており、様々な食のシーンでご愛顧いただいております。

2024年度には、新商品として「NOMEN」を発売しました。ラーメンの麺が無くてもスープだけで堪能していただける商品となっております。スープの味に自信を持っている「あみ印食品工業」ならではの商品です。

輸出製品では、植物由来の原材料を使用し、畜産物や水産物に似せて作られる「プラントベース」製品にも力を入れ、海外需要に応えていきます。

▲2024年度に新発売した「NOMEN」

企業理念・経営方針・サスティナビリティ指針

【安心・安全な高品質の商品・サービスの提供】
- 私たちは安心で安全な商品を開発するため、妥協いたしません。
- 私たちは常にお客様の立場に立って、真摯に耳を傾け、ご満足いただける商品・サービスを提供し続けます。

【公正な購買取引】
- 私たちはあみ印食品工業株式会社の一員として、世界各国のコンプライアンスに従い、公正な立場にて決定します。
- 私たちは、取引先様は良きパートナーであると考え、選定においては価格・品質・サービスを比較検討し決定します。

【社会への貢献】
- 私たちは環境に対するグローバルな枠組みの中で、環境法令の責任者を定め、法改正などに速やかに対応できるよう努力します。
- 私たちは資源の有効利用や、環境改善に役立つ新しい技術の開発に努力し、社員の教育と啓発に努めます。

【社員個人と職場環境】
- 私たちは家族を含め、一人ひとりの安全の確保に万全を期し、健康に働くことのできる環境を整備します。
- 私たちは一人ひとりが、あみ印食品工業株式会社で働くことに「幸せ」と感じる職場環境を作るための一切の努力を怠りません。

株式会社スマイエ

06

事業内容

賃貸仲介・売買仲介・不動産管理・建築・相続のコンサルティングなどの幅広い事業にデジタルを掛け合わせ、収益率の高いビジネスを実現させています。

■ 住所：北区赤羽南1-3-1 高橋ビル6階
■ TEL：03-5249-3015
■ FAX：03-5249-3016
■ URL：https://sumaie.info/

日テレ・東京ヴェルディベレーザのスポンサーとして地域貢献に取り組んでいます

スマイエは北区で創業し、北区には王子駅前と赤羽駅前に店舗があります。北区に住みたいお客様や北区に貸家をお持ちの貸主様に支えられ、事業を展開してきました。

そして2023年、SDGsの取組の一環として「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」のコーポレートパートナーとなりました。日テレ・東京ヴェルディベレーザは、東京都北区西が丘にある「味の素フィールド西が丘」をホームとするサッカーチームです。東京都北区と日テレ・東京ヴェルディベレーザは、スポーツを通じた地域の活性化などを目的とした「スポーツの推進及び連携に関する協定」を締結しています。

・スポーツを通じた地域活力の向上に関すること
・次世代を担う青少年の成長を育むこと
・区民のスポーツ機会の充実に関すること

など、様々な取組が行われています。

日テレ・東京ヴェルディベレーザを支援することで地域の活性化に貢献し、地域に育つ子供たちの夢を応援していきます。

▲地域の絆を強化するスポンサーの貢献

女性が活躍し、働きやすい職場を目指します

前述の「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」は日本の女子サッカーのトップチームです。スマイエは不動産会社では珍しく女性管理職の比率が3分の1を超えていますが、女性トップアスリートが活躍する姿にさらなるインスパイアを受け、女性管理職比率50パーセント以上を目指し、ミドルマネジメント研修を実施しています。今後も女性が活躍し、働きやすい職場環境の整備に力を入れていきます。

▲女性活躍推進についての会議の様子

スマイエは「なんでもできる街の不動産屋」を目指します

私たちは「なんでもできる街の不動産屋」を目指しており、幅広く事業を展開しております。現在の主力事業は、賃貸仲介・建物管理・売買仲介・建築事業・リフォーム事業です。それぞれの部門にデジタルの力を掛け合わせ、より収益性の高いビジネスを実現させています。「何か困ったことがあってもスマイエに聞けば安心だ」と、地域に暮らす方々に思っていただけるよう、精進していきます。

◀スマイエの事業

電子契約を導入して紙の使用を減らします

不動産業では、お客様にお渡しする図面や明細書・契約書類などで大量の紙を使用します。スマイエでは2022年から契約更新のご案内にWEB更新を導入し、紙の使用削減に取り組んできました。

今後はタブレット端末を活用して、お客様へお渡しする図面の印刷を廃止し、契約手続きもオンラインで完結できるシステムを導入したいと考えています。

◀ペーパーレスの推進

王子ゴム株式会社

07

事業内容

ワーキンググローブ・ワーキングシューズを主体とした作業用品の専門商社です。働く人の労働環境の改善に役立つ商品を提供しています。

■住所：北区豊島7-7-17
■TEL：03-3911-3766
■FAX：03-3912-4737
■URL：http://www.ojigomu.com

すべての人・企業・社会の発展に貢献

ワーキンググローブのメーカーとして1933年に創業した弊社。当初は製造・販売を行っていましたが、近年では商事部門の委託を進め、工場を持たない「ファブレス化」を果たすなど、商社としての機能を強化しています。弊社の商品を使用されるお客様の安全・安心はもとより、環境へも配慮しながら、仕事の快適性の向上に努めてまいります。自社オリジナル商品の他、ミズノの販売代理店、ミズノのワーキングシューズ販売も手掛けています。

アシックスワーキングシューズを導入いただいたお客様の声をご紹介します。

・「今回社内でアシックスのワーキングシューズ採用が実現しました。以前の作業靴は、水やオイルで滑りやすく、通気性が悪くてムレやすい、すぐに摩耗するなど、多くの不満が出ていましたが、アシックスワーキングシューズにしてからはそのような声もなくなりました。」

・「夕方になると、皆疲れ切っていたのが、疲労感がとても軽減されました。」

・「仕事に対するモチベーションも上がり、新卒採用のプレゼンにも使わせてもらい好評です。」

今後も、現場で働く人を応援する企業として社会に貢献します。

▲現場の人を応援するワーキングシューズ

人を大切にする経営

弊社は、社員にやりがいを感じてもらい、よい仕事をしようというポジティブな雰囲気を広げるため、職場環境の整理整頓に取り組んでいます。この取組を通じて、社員の満足度や業績の向上、組織内でのイノベーション促進につなげ、これからの外部環境の変化に柔軟に対応していきたいと考えています。具体的な取組の一例としては、以下のようなものがあります。

1. 学びの機会の提供

希望する全社員が学びの機会を享受できるよう、外部機関による研修を受講できる体制を構築しています。

2. ワークライフバランスの向上

仕事とプライベートの充実が図られるよう、時代に合わせて就業規則や評価制度を見直し、残業時間の短縮や有給休暇の取得率向上に向けた取組を推進しています。また、経済産業省の健康経営優良企業法人の認定取得に向けた準備を進めています。

3. 働きやすい環境整備

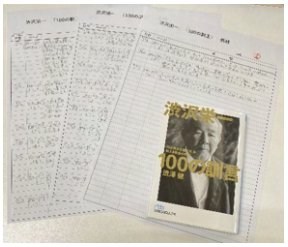
人を大切にする経営を実現するため、働きやすさにつながる取組は多岐にわたります。例えば社内に情報の偏りが発生しないよう、方針や社内ルール、経営計画書を全従業員に配布しています。また、公平で平等な組織にするため、多様性を受け入れる研修も実施しています。

渋沢栄一「100の訓言」から学ぶ

1週間に1回、渋沢栄一「100の訓言」（著者：渋澤　健）の本を用いて、読書会を開いています。1から100までの訓言を毎週1項目ごと読み、全社員が感想を社内に発信しています。他の社員の感想を読むことは、新たな気付きや思考を深める大変有意義な時間です。

この取組は、社員の仕事を通して学ぶ姿勢や、生き方、思想に生かされてきていると感じています。

今後も継続することで、社員が毎日をワクワク過ごすことができるような変化が生まれることを目指しています。


▲社員から寄せられた感想

地域貢献を目的とした近隣の清掃活動

弊社の事業年度計画に基づいて、実施しています。（2024年度実施日：5月16日、7月11日）

会社の近隣の道路を2班に分けて、行きと帰り交代に歩道や排水溝などにあるゴミを拾っています。20分という時間で45リットルのゴミ袋2分の1の量が収集されました。実施した2日間は、あいにく小雨が降っていましたが、みんな合羽も着ずにゴミ拾いに夢中になって、ペットボトルやタバコの吸い殻などのゴミが沢山収集できました。

今後は、活動範囲を広げたり、色々なコースを作り、きれいな町にしていきたいと思います。

有限会社ビービーエススズキ　08

事業内容

私たちは理容室・美容室・訪問理美容を経営しています。性別・年齢にかかわらず、多種多様なお客様に喜んでいただけるよう、日々努力をしております。

■ 住所：北区王子1-14-2 BBSビル
■ TEL：03-6903-3037
■ FAX：03-3914-2948
■ URL：http://www.bbs-co.com

カラーチューブのリサイクル事業に参加しています

私たち有限会社ビービーエススズキは、持続可能な発展のために様々な取組を行っております。私たちの取組の一つに、ヘアカラーチューブのリサイクルがあります。理美容室でカラーの施術をした際に排出される使用済みヘアカラーチューブの量は非常に多く、適切にリサイクルされないと大量の廃棄物を出すことになります。ヘアカラーチューブはアルミ製であり、リサイクルに適しています。当社は、これをきれいに洗浄し、キャップ部分を取り外してリサイクル業者に送っています。これにより、普段は廃棄物として捨てられてしまうカラーチューブがアルミ資源としてリサイクルされ、環境保全に貢献することができます。

訪問理美容を通じて、社会貢献をしています

私たちの提供するサービスの１つとして訪問理美容があります。これは、何らかの理由で理美容室にご来店できないお客様のもとへ我々が出張し、施術をするというものです。高齢化が進む社会において、「おしゃれして美しくなる」ことの喜びを実感していただくお手伝いをする訪問理美容は、ますます必要性が高まっていると考えております。

訪問理美容に対する会社の思いやその技術をスタッフに承継し、地域へこのサービスを周知することで、この活動を次世代へつなぎ、当社が地域の笑顔のために在り続けられるように努力しております。

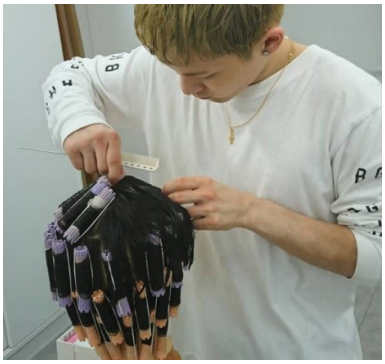
訪問理美容の様子▶

サポート制度を設けて会社を前進させていきます

現代は人生100年時代です。長く変化の激しい人生の中で活躍し続けるために、当社は生涯学習を掲げ、従業員に対し様々な学習の機会を設けております。この学習は、理美容師としての技術習得だけでありません。ビジネス・マネジメント・接客・育成におけるスキルも身に着けられるプログラムであり、理美容師としても人間としても成長できます。

具体的には、外部業者の講座を活用し、キャリア別にオンラインまたは対面で受講します。そして受講後に学んだことを行動に移し実践していくために、上長及び担当外部業者のサポートを受けます。その内容をレポートにまとめ、講座前後でどのような変化が現れたかを従業員同士で共有します。このような仕組みを今後より洗練させ、当社独自の教育プログラムとして構築します。

これにより、従業員一人一人がより頼もしい存在となり、会社として前進し続けられると考えております。



▲従業員の生涯学習は、認証企業としての達成目標の1つです

▲北区長とSDGs推進企業認証式にて

税理士法人ガイア

09

事業内容

税理士法人ガイアは北区西ケ原に事務所を構える会計事務所です。会社設立・相続税はもちろんのこと、法人個人問わず税務関係を扱っております。

■ 住所：北区西ケ原3-48-4 野口ビル3F
■ TEL：03-3940-0831
■ FAX：03-3940-0832
■ URL：https://gaia-tax.com

Gaia Tax Corporation
税理士法人ガイア

より良い社会を目指してまずは一歩目を踏み出しましょう

SDGsのことは皆様理解されていますか？持続可能な開発目標の頭文字のことですが、「広い意味で説明されていて身近に感じられない」や「始め方が分からない」などの感想を持たれるかもしれません。しかし、SDGsは全ての人々にとってより良い、より持続可能な未来を築くための青写真です。つまり、環境問題のことを考えて環境負荷の低い製品を購入することや、リサイクル用品を使用するという小さな取組も、SDGsに貢献していると言えると思います。このように、身近な事柄でも意識をすればSDGsにつながることは沢山あると思います。私たちは、小さなことから第一歩を踏み出し、それを継続していくことでSDGsの達成を目指していきます。

オフィス外観▶

税のかかりつけ医を目指して

私たち税理士法人ガイアは上記の事業内容でも記載させていただいたとおり、会社設立・相続税はもちろんのこと、法人個人問わず税務関係を扱っております。

そもそも会計事務所に対して、「敷居が高い」・「お堅い職業」というイメージを持たれている方が少なくはないと思います。しかし、私たちは顧問の方だけでなく、新規のお客様の様々な相談にも乗れる、かかりつけ医のような会計事務所を目指しています。税務のことだけではなく、グループ会社に行政書士法人や記帳代行等の会社もありますので、幅広い事柄を何でも相談・解決できるワンストップサービスを行っています。税金に関わることは、小さなことでも相談していただければと思います。

SDGsの取組　社内編

社内でのSDGsの取組の中に、北区内の環境保全活動というものがあります。弊社ではSDGsの取組を行う前から地域清掃として事務所の周囲を月一回清掃させていただいております。その中で気付くのは小さなごみが多いことです。どんなに小さなごみでも道路にあると違和感として残りますし、万が一動物が誤食してしまうと、大げさかもしれませんが、生態系に影響が出てしまう可能性があります。小さなことですが、私たちは続けていますし、何よりもきれいになっていく街並みと「ご苦労様、ありがとう。」とお声掛けいただく言葉が満足感につながります。

▲地域清掃の様子

多様な人々が働く職場

私たち税理士法人ガイアは、他の会計事務所に比べて外国人従業員の比率が高くなっております。弊社では、彼らに対しレッテルを貼ること無く、どの国籍の従業員も皆同じように働いています。もちろん日常では日本語を話してくれますが、海外のお客様との電話やメールでの対応はとても心強いです。しかし、生まれ育った場所が違うと考え方や価値観が違ったりしてしばしば衝突したりもしますが、そういうことが起きることも多様性の一種だと思います。お互いを尊重してお互いが仕事をしやすい環境を作り上げていきたいと思います。

▲多様性を尊重する職場環境

恒栄電設株式会社

事業内容

電力工事という公共性の高い事業を行っています。変電所・発電所の建設を長年続け、そこで培った技術を様々なフィールドへ活用しています。

■ 住所：北区岸町1-8-17
■ TEL：03-5993-3111
■ FAX：03-5993-3231
■ URL：http://koei-densetsu.co.jp

カーボンニュートラルで持続可能な社会と未来創造(まちづくり)

当社の拠点がある福島でも東日本大震災からまだ多くの人が街に戻れないでいますが、当社は再生可能エネルギーである野馬追風力発電所の建設に携わっており、その電気を農業用ハウスに送るという計画で、街の活性化に協力しています。

また、2019年の台風19号で荒川氾濫の可能性がありましたが、万が一の災害に備え、災害時でも電気が使える仕組みを構築しています。このように、SDGsのゴール「7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「11:住み続けられるまちづくりを」につなげていくことができ、電力・カーボンニュートラルを通して持続可能な社会づくりに貢献、様々な地域の未来創造(まちづくり)の実現を目指しています。

▲ハウス内の温度や室温管理実験場:福島県浪江町

太陽光パネル＋蓄電池で地産地活＋セーフティタウン実現へ

当社が取り組んでいるセーフティタウン構想は、災害時でも電気が使える仕組みを構築し、平時には地産地活の源泉として地域のまちづくりに価値を提供し、持続可能な社会づくりに貢献を果たすものだと思います。昨年にはその一環として、本社に太陽光パネルと蓄電池を設置しました。現在は、埼玉事業所にセーフティタウン構想の実験用太陽光パネルを設置中で、当社のビジョンである未来創造(まちづくり)の足掛かりとしています。

※地産地活とは
地域内で生産できるエネルギーで地域産業を振興し、地域社会に活力を創出する取組

▲本社屋上

◀埼玉事業所

会社のメンバー全てが活躍できるワークライフバランスを目指して

これまで当社は、建設業という業界の特性から男性が多く、現場での職務を中心とする企業でした。そのため、次のような取組を実施し、社員一人一人が活躍しやすい環境を整えております。

①女性技術者の採用
②事務担当の女性全てが参加し、自律した活動を行う女性活躍プロジェクト
③主に中高齢を想定した三大疾病等のための通院治療有給休暇の他、災害休暇、ボランティア休暇等の特別休暇の付与
④低価格で住める社員寮の提供
⑤資格取得支援制度（受験費用の負担や祝い金）

これらの取組により当社は、2020年の北区のワークライフバランス推進企業認定、2022年の東京都ライフワークバランス推進企業認定、健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）として認定され、また、特別休暇については好事例として2023年版厚生労働省の働き方・休み方改善ポータルサイトに掲載されました。
https://work-holiday.mhlw.go.jp/kyuukaseido/search.php

株式会社ゴカ

11

事業内容

100年以上続く鉄鋼商社です。注射針等の医療機器を中心に、自動車部品・建築部材・文具関連などに使用する材料を取り扱い、人々の生活インフラを支えています。

■ 住所：北区王子5-18-12
■ TEL：03-3913-4441
■ FAX：03-3912-7330
■ URL：https://www.goka.jp/

まずは小さく始めます

弊社は、SDGsを推進するにあたり目標の達成は単に早ければ良いというものではないと考えています。地域・環境・従業員などの全てのステークホルダーにとって最良な形を模索しながら丁寧に実行しています。

1つ目の目標は「ダイバーシティ経営の推進」です。具体的には、「採用において、性別・年齢・国籍等で差別することなく適正や能力で評価する」ことです。現在は、女性の営業職採用に取り組んでおります。また、外国人従業員の採用実績もあり、着実にダイバーシティ経営を進めております。

2つ目の目標は「緊急時のルール策定」です。これは会社・従業員を守る上で必ず達成すべき目標です。2024年度からマニュアルの策定を開始しています。試行錯誤して実践的なマニュアルを作成し、社内全体へ周知していきます。

3つ目の目標は「環境保全活動に参画する」です。具体的には「北区環境基本計画2023に則った事業所内での脱炭素化促進」です。事業所内の省電力化や一部商用車のハイブリッド化・EV化を目指しており、2024年度より予算案の策定を開始します。また、2024年度中には太陽光パネルによる自家発電を達成したいと考えています。

継続することの難しさ

弊社は海外の得意先も多いため、とりわけ欧州の企業から多岐に渡る詳細なESGの取組についての回答を求められることがあります。そしてその度に、難しさや面倒さを感じることは正直少なくありません。会社経営と同様、SDGsの取組もいかに継続するか、ということが最重要課題だと思っています。最初から意気込みすぎても続かないので、焦らずに、少しずつ着実に継続することを目指して活動を続けていこうと思います。そのためにも北区での地道な活動がとても重要だと考えております。それが習慣化できれば、やがて大きな意味での環境活動にもつながると信じています。

また、地域貢献としては、北区のしぶさわくんFM内で「みんなでサウナ」という番組を配信しています。サウナがテーマになっていますが、ワークライフバランスなど地域コミュニティの在り方など、SDGsを考える上でも重要なテーマについても有識者と話をしています。こちらもよろしければお聞きください。

▲健康優良企業および
北区SDGs認証の認定書

ワーク・サウナ・バランスで持続可能な社会を目指す

2023年12月からスタートした北区の地域振興のためのPODCASTしぶさわくんFM内の番組「みんなでサウナ」。弊社では健康優良企業の認定を受けていることもあり、個人的に仕事とサウナの関係、「ワーク・サウナ・バランス」を常に考えてきました。そんなこともあり番組では、様々なゲストの方を招き、サウナを活用していかにサステナブルに生きていくか？を語り合いました。なかでもフィンランド在住でサウナに関する様々な著作をされている、こばやしあやなさんからは「金銭的見返りではない、そこに参加し設営や運営を手伝うことで古きサウナを保護していく」サウナ村のお話、漫画「サ道」原作者のタナカカツキさんからは「早起きをし、仕事や家事のルーティン化を徹底することで、生活全体のクオリティを均一化し持続可能にする方法」を学びました。今や100社を超える参加企業を誇るサウナ部アライアンスの代表コクヨの川田直樹さんからは「違う背景の相手や会社とも、サウナをハブすればコミュニティ形成がうまくいく」というお話をいただきました。このように、話し合うテーマは本当に多岐に渡っています。我々自身がいかに働き、いかに休息をとり、持続可能な存在でいられるのか。そのためには、企業も旧来の価値観や慣習を見つめ直し、柔軟に変化に対応していくことが、生きやすい社会を形成していく上で重要な気がします。そのためにも、適度なサウナライフを日常に取り入れることを内外に推奨しています。これからも日々サウナに入り、思考をクリアな状態にして社会課題に思いをはせようと思います。

▲しぶさわくんFM内の番組「みんなでサウナ」

株式会社カクヤスグループ

事業内容

首都圏を中心に「なんでも酒やカクヤス」を展開し、飲食店やご家庭へ酒類・食料品等の販売及び卸売を行っています。

■ 住所：北区豊島2-3-1
■ TEL：03-5959-3088
■ FAX：03-5390-0227
■ URL：https://www.kakuyasu-group.co.jp

揚げ物油で飛行機が飛ぶ！ 廃食用油回収で循環型社会の実現に貢献

カクヤスの店舗・小型出荷倉庫等において、飲食店やご家庭から出る廃食用油の回収を行っています。回収した廃食用油は、通常の燃料よりも温室効果ガスを削減できる持続可能な航空燃料(SAF)や、バイオディーゼル燃料へ転用されます。

カクヤスは独自の自社配達網を構築しており、お届けだけでなく回収も行う強みを生かして出来る取組を考え、回収方法が限られ廃棄されることの多いご家庭の廃食用油をご注文商品のお届け時に回収しています。

地域の皆様が気軽に資源循環に取り組めるので、多くの方にご参加いただきたいと考えております。

揚げ物油（廃食用油）で▶
飛行機が飛ぶ！！

環境にやさしい配達車両でお届け！ 「持続可能な物流を目指して」

お届けを担う当社にとって気候変動対策は重要な課題であり、温室効果ガス排出量の算定や削減の取組を行っています。

環境負荷の少ない配達車両の導入を推進し、2023年にEV軽自動車を初導入しました。ガソリン車と比較し、約60パーセントの温室効果ガスの削減を見込んでおり、2024年度は7台の導入を予定しています。また、拠点間の距離を短くすることで各拠点からの配達距離が短縮できるため、運転免許が不要で環境負荷のないリヤカーや自転車で配達が可能となり、配達人員の確保にもつながっています。

気候変動と人員不足の双方に対応し、持続可能な物流の実現を目指します。

環境にやさしい配送車両でお届け

「こども110番の家」活動で安全安心な地域社会を

年中無休で営業している店舗として、近隣に住むお子様とそのご家族の皆様が、安心安全に暮らすためにできることを考え、「子ども110番の家」の活動を行っています。

対象拠点の入口にはステッカーを子供目線の高さで貼付しており、お子様が助けを求めてきた際に、迅速に対応できるよう警視庁や各自治体のマニュアルを設置しております。

今後も本取組を進め、地域の皆様の安心安全な暮らしに貢献してまいります。

◀こども110番の家に登録する店舗

「飲食店×SDGs」未来につなぐおいしい日本～飲食店から始めるSDGs～

飲食店の皆様と共にSDGsの取組を推進し、持続可能な外食産業を目指したいという思いから、『「飲食店×SDGs」未来につなぐおいしい日本～飲食店から始めるSDGs～』をテーマにオリジナルのロゴマークを作成しました。

廃食用油の回収などSDGsの取組を提案し、ご賛同いただいた飲食店様にステッカー等を配布しています。店頭やメニューに掲示いただくことで、飲食店を利用するお客様や他ステークホルダーへの啓発にもつながると考え、飲食店の皆様と共に持続可能な外食産業の実現を目指します。

飲食店
SDGs
未来につなぐ おいしい日本
～飲食店から始めるSDGs～

◀「飲食店×SDGs」で連携の輪を広げます

株式会社なとり

13

事業内容

さきいか・チーズ鱈・サラミなど、素材の風味を活かし、手軽に食べられ、楽しさを演出する「おつまみ」をお届けしています。

■ 住所：北区王子5-5-1
■ TEL：03-5390-8111
■ URL：https://www.natori.co.jp

おつまみを通して持続可能な環境と社会の実現に貢献します

なとりグループは、「安全・安心」「環境への配慮」「社会貢献」「働きやすさ」の4つのテーマについて、世界共通の社会的課題として掲げられた持続可能な開発目標(SDGs)にも紐づく活動を推進しております。

【SDGsへの取組　4つのテーマ】

①安全・安心
　安全・安心な製品の提供

②環境への配慮
　食品ロスの削減・二酸化炭素総排出量の削減・持続可能な原材料調達への切り替え

③社会貢献
　食育セミナー活動・工場見学・フードバンクへの協力・寄付協賛活動

④働きやすい職場づくり
　女性管理職比率の向上・男性育児休暇の取得推進

SDGsへの取組につきましては、当社ウェブサイトでもご案内しております。
https://www.natori.co.jp/corporate/sustainability.html

太陽光発電設備の導入

二酸化炭素排出量削減の取組として、埼玉第二工場及び、グループ会社である函館なとりに太陽光発電設備を設置し、発電した電気をそれぞれの施設で使用しています。これにより、年間約520トンのCO_2排出量の削減ができます。これは一般家庭が1年間に排出するCO_2量に換算すると、180世帯分になります。

◀埼玉第二工場
（太陽光発電）

食育活動の取組

地域の子供たちを対象にした「出前授業」を行いました。「チーズ鱈セミナー」では、原料であるチーズの栄養や鱈の生態について理解を深めてもらい、「チーズ鱈」を身近に感じてもらえるよう活動を展開しています。「さきいか・チーズ鱈セミナー」では、さきいかと「チーズ鱈」を通じて食の楽しさ、栄養の大切さを知ってもらうことを目的にスルメイカの解体や「チーズ鱈」の作り方の実演等を行いました。

また、埼玉第二工場では、地元の小学校などの工場見学を積極的に受け入れています。生産ラインを一望できる見学通路の他、「チーズ鱈」の製造工程やクイズ形式で楽しみながらチーズや鱈の知識などを学べるコーナー、「チーズ鱈」の体験試食などもあり、子供から大人まで楽しめる空間となっています。

▲稲田小学校(現：都の北学園)での
出前授業の様子

高校生との共同開発製品発売

成立学園中学・高等学校（東京都北区）の高校生との共同開発製品「チープリテイン」を発売しました。当社はSDGsの取組として「食を通じた社会貢献」を目標に掲げ、食育活動を通じて若い方たちに食の大切さや食文化の魅力を伝えたい、との思いがあります。今回、縁あって成立学園中学・高等学校の探究授業の枠をいただき約一年間活動しました。高校生の若い感性と自由な発想で、従来のおつまみの枠を超えた、新たな魅力をもったチーズ製品が生まれ、製品は「成立祭（成立学園中学・高等学校の文化祭）にて販売しました。

企画運営は、日本薬科大学（キャンパス：埼玉県北足立郡伊奈町、東京都文京区）に協力いただきました。

成立学園中学・高等学校
【協力】日本薬科大学 NIHON PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

▲高校生と共同開発した製品

株式会社さくら総合福祉 14

事業内容

地域密着でご高齢者、障がいをお持ちの方の在宅における医療保険・介護保険事業及び生活のワンストップサービスを提供しています

■ 住所：北区岸町1-6-19 青葉ビル105号室
■ TEL：03-6903-3782
■ FAX：03-6903-3794
■ URL：https://sakura-sf.com

ダイバーシティ経営の取組① 高齢者スタッフの活躍

介護業界は人手不足で悩まされる事業所が多い中、弊社では年齢・性別・宗教信条を問わずに採用しており、最近では60代・70代の採用を積極的に行い、現場で大きく活躍していただいています。

採用活動としては、北区社会福祉協議会とハローワークが主催する「福祉のお仕事総合フェア」や北区介護保険課が主催する「生活援助員就職相談会」、北区立いきがい活動センター「きらりあ北」に求人票を出し、就職相談会にも参加させていただいています。これらの新たな採用活動により、2024年1月から60代・70代の正社員2名・パート4名の採用に至りました。

60代・70代の方の就労動機では、「身体の動くうちは働いていたい」、「サラリーマンを辞めたからこれからは地域に根差した仕事がしたい」、「自分にあった、自分でもできる仕事がしたい」、など若い世代とは異なった就労動機があります。そのため、弊社ではこのようなニーズに合わせた短時間正社員・パートタイム・業務委託といった多様な雇用形態を用意しております。また、在宅勤務・直行直帰・電動自転車や服の貸与など働きやすさを整えることにも注力しています。

採用と同時に力を入れていることは、「教育」です。毎月の研修会や個別研修を通じて、技術や知識を学び、サービスの質の維持向上を図っています。スタッフ間の情報交換や懇親を深めるために実施している懇親会は、20代から70代までのスタッフが参加し毎回大いに盛り上がります。高齢のスタッフにおかれては、蓄積された知識と経験を生かしてもらい、体力面や心配事などは会社がフォローし、必要な技術や知識を身に付けてもらうことにより、活躍の場を創出したいと考えています。

介護部門のスタッフ▶

ダイバーシティ経営の取組② 女性の働きやすい環境作り

弊社は在宅かつ人的サービスという特性から、女性スタッフは貴重な存在です。そのため、女性が働きやすい環境を整え、就業規則などで制度を見える化しています。例えば、お子さんの急な発熱や三者面談などの学校行事に柔軟に対応するための時間単位の有給休暇制度・テレワーク・子ども家庭庁ベビーシッター券の導入など、家庭と仕事を両立できる環境を整えています。また、多様な働き方を実現するため、パート契約はもちろん短時間正社員・正社員でも時差出勤を用意し、お子さんの保育園の送り迎えに合わせた働き方も可能です。

このような制度は実際に活用されており、お子さんの成長に合わせてパート契約から正社員に契約変更したスタッフ、正社員から出産を機に短時間勤務に変更し、現在は管理者として活躍するスタッフなど、それぞれの環境に合った働き方を提供できていると感じています。最近、婚約した女性スタッフから「子どもをもうけても働き続けたい」と言ってもらえています。

弊社の女性活躍のための取組は、現在スタッフの約7割が女性、3部門のうち2部門の管理者は女性という成果につながっています。まだまだ子どもの面倒は母親がみるものという風潮がある点は否めませんが、弊社では、スタッフのために出来ることは全て取り組んでいきたいと思っています。

▲子育て中の介護部門の管理者

▲ハウスクリーニングのスタッフ

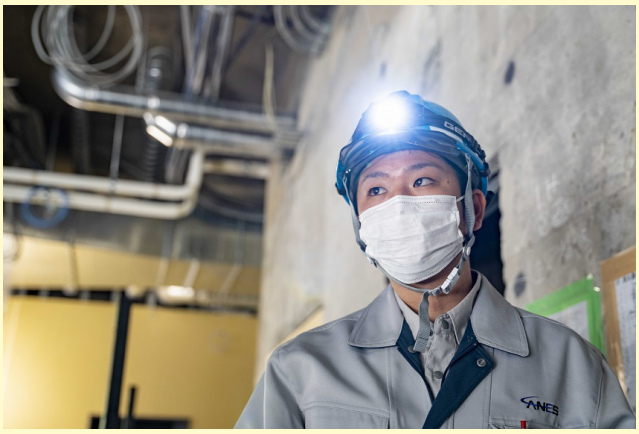
アネス株式会社

15

事業内容

建物の空調・給排水・衛生設備・工場の生産支援設備の施工を専門としています。改善提案・コスト削減・環境保護に貢献しお客様の信頼に応えています。

■ 住所：北区栄町1-3
■ TEL：03-3913-4123
■ FAX：03-3913-4126
■ URL：https://anes-corp.jp



▲快適環境づくりのスペシャリスト集団

【未来のためにできることを】建築設備とSDGs

当社では、空調・給排水・衛生設備などの建築設備工事を通じて、住居・商業施設・オフィスビル・工場など、幅広い施設における快適環境づくりに取り組み、SDGs17の目標「12:つくる責任・つかう責任」を果たしています。日本では当たり前に安全に提供される水やトイレ、その当たり前を維持するための給排水・衛生設備の整備も取組の一つです。施工現場では、廃棄物の排出削減・化学物質の適正管理・環境負荷の小さい設備の提案を行うなど、建築設備会社としての責任を果たしています。

次に、当社はSDGs17の目標「11:住み続けられるまちづくりを」を実現し地域社会に貢献しています。北区内の施工事例としては学校や体育館・図書館・特別養護老人ホーム等、幅広い施設の設備工事を請け負い、快適な教育環境の整備や住み続けられるまちづくりの一端を担っています。「都の北学園」の設備工事では、区内初の小中一貫校としての機能に加え、災害時の避難所として必要な、持続可能かつ強靭な建築設備の構築を担いました。

最後に、当社はSDGs17の目標「7:エネルギーをみんなに・そしてクリーンに」を実践し、社会に役立つ企業を目指しています。住宅でくつろぐための空調・オフィスでの働きやすい環境づくり・製造現場で必要な温度管理や無菌状態など、最適環境は建物の使用目的によって異なります。当社はこれら幅広い使用目的への対応力に加え、コストダウンをしながら地球環境に配慮した省力・省エネルギー化を実現する提案を行っています。

未来に向けて

当社は、社員を大切にすること、そして「企業は人なり」という理念のもと社員がいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。社員が成長できる環境づくりだけではなく、労働条件や人間関係・福利厚生も含め、働きやすい社風であることを自負しています。

具体的には、健康経営・福利厚生・時間外労働削減に関する取組を行っています。健康経営・福利厚生では、健康診断受診率100%・人間ドック費用補助制度・禁煙外来費用補助などの取組が認められ、3年連続で健康経営優良法人の認定を継続しています。また社員・ご家族のレクリエーションに対する補助なども行っています。

労働時間の面では2020年から残業時間の見える化・業務効率化・IT機器の導入・社員の意識改革など労働時間削減の取組を全社的に行い、平均残業時間の大幅な削減を実現しました。

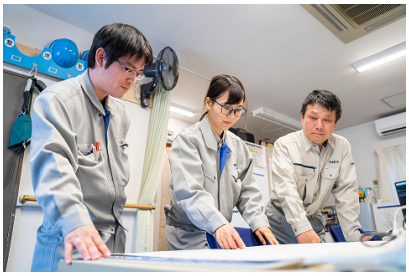
こうした取組の結果、全社員を対象としたストレスチェックでは、職場環境や人間関係といった項目や総合数値が全国平均よりもかなり低く、社員から「ストレスの低い職場」であると評価されています。また厚生労働省が発表した全国平均の離職率15パーセントに対し、当社は3分の1以下の4パーセントと低い離職率を実現しています。

当社はSDGs17の目標「8:働きがいも・経済成長も」を実践しながら、社員の健康と社員がいきいきと働くことができる環境づくり、働きがいのある企業を目指しています。

2024
健康経営優良法人
Health and productivity

▲経済産業省の「健康経営優良法人」の認定を取得

▲社員同士が成長し合える環境



▲先輩社員によるフォロー体制

株式会社ぷらっとマルシェ 16

事業内容

自然栽培の南イタリア産オリーブオイルの輸入販売を主軸に、地域資源の活性化を図って民泊やレンタルスペースを運営。人やモノ、情報の交流の場をつくります。

■ 住所：北区志茂5-16-15
■ TEL：03-3903-7607
■ FAX：03-3903-7647
■ URL：https://www.pmc.tokyo.jp

本物のオリーブオイルを求めて～オーガニックへの取組～

2006年3月。EUにてオーガニック認証されたガッティ家のオーガニックエクストラバージンオリーブオイルの輸入販売を始めました。

ローマ帝国時代の遺跡が残るガッティ家の農園のテーマは「自然との共存」。

目に見えるものだけでなく、土の中の微生物に至るまで皆、農園に生きる生命と考えます。どんな農薬も肥料すらも使わずに、受粉においても自然の風が行い、虫や鳥たちが手助けします。カラブリア州立大学との共同研究の中で、有機栽培の技術に従ってオリーブの実を考慮しながら枝を剪定。徐々に形を作って新しくしていきます。自然のままに大切に育てられたオリーブを収穫し、その日のうちに搾油。ボトリング後、冷蔵コンテナで日本に運びます。

オーガニック(ORGANIC)の語源は、オリジン(ORIGIN)と言われ「生命の」「本来の」「根源的な」と言った意味からきています。 単なる「有機栽培」を表す言葉ではありません。

オーガニックに取り組むことで、食べ物や農業だけではなく、生き方、考え方、環境、教育、経済など、ライフスタイルすべてに関わり、よりよい未来を作ります。

▲オーガニックへの取組からSDGsを考える

エシカル消費（倫理的な消費）に着目し循環型社会を醸成

オーガニックへの取組を広めるために「エシカル消費」に着目しました。これは「安くて良いモノ」や「自分にとってどれくらい得か」といった基準だけで選ぶことではなく、より広い視野で、「人や社会、地域、環境などに優しいモノ」を購入する消費行動やライフスタイルを意味します。

私たちが手にしているものが、どこで、どのように作られて、どのように運ばれて販売され、此処にたどり着いたのか。いわゆる全てのモノの根源（オリジン）に関心を持ち、価値を見出すことで、モノの大切さを知り、命の循環を知り、豊かな心で暮らしていくことにつながります。

世界に目を向けると、農場（生産者）から食卓（消費者）までのトレーサビリティが求められており、生産者もまた一人の消費者です。

安全安心な暮らしは「エシカル消費」から。正しい循環型社会を醸成することを目指します。

グローバル標準のQRコードでトレーサビリティが可能

▲ガッティ家のオリーブオイルでエシカル消費マークを取得

北区と世界がつながるプロジェクト～渋沢栄一の精神を次世代へ～

日本近代経済の父と言われる渋沢栄一はその著書「論語と算盤」において「仁義道徳と生産殖利は共に進むべき」と述べています。これは現代のSDGsにおける「誰一人取り残さない社会の実現」という理念につながります。

かつて王子飛鳥山の渋沢邸は、様々な立場の人がひっきりなしに訪れる交流の場でありました。さらに、今に残る青淵文庫や晩香廬、戦災で消失してしまった茶室：無心庵は国内外の賓客をお招きする民間外交の場、いわば迎賓館であり、当時の世界情勢について語り合う場でもあったことでしょう。

北区とも縁の深い渋沢栄一の精神を次世代へ繋げる活動を行うことによって、地域に対する誇りや共感、いわゆるシビックプライドを醸成し、地域をまるっとボトムアップ。北区から日本へ、そして世界へとつながることを目指します。

渋沢栄一の精神を次世代へつなげる▶

王子飛鳥山の茶室：無心庵絵葉書セット
令和4年度渋沢助成金採択事業

らいふ経営グループ
税理士法人西川会計

17

事業内容

らいふ経営グループ税理士法人西川会計は北区赤羽の会計事務所です。
グループ各社の専門性を最大限に生かした総合的なサポートを提供しています。

■ 住所：北区赤羽南2-4-15
■ TEL：03-3902-1200
■ FAX：03-3901-5600
■ URL：https://www.nishikawa-kaikei.co.jp

LIFE MANAGE らいふ経営 GROUP

税理士法人西川会計
株式会社ライフ経営
社会保険労務士法人らいふ社労士事務所
行政書士法人らいふ行政書士事務所
株式会社らいふ保険サポート
有限会社アイ・ネットサービス

らいふ経営グループのSDGs

らいふ経営グループは、関与先・地域社会に対して、何ができるかを常に考え行動し続ける組織である
「顧問先の黒字化を実現し、企業の永続発展を支援する」

＜顧問先の黒字化支援＞
顧問先のパートナーとして黒字化を実現し、公正かつ最適な納税を実現します

＜経理の合理化を支援＞
バックオフィス業務のデジタル化を通じて生産的な働きがいのある仕事を実現します

＜働きかた改革を支援＞
会社で働く全ての人々の能力強化が図られ、働きがいのある職場の実現と社会保障の充実を支援します

地域貢献・赤羽セミナーを毎年開催！

地域の方が身近な悩みをいつでも相談できる場を提供するため、地域企業の協働で「赤羽セミナー」というイベントを開催しております。この取組は、2015年から毎年実施しており、2024年は10回目となりました。ファイナンシャルプランナーや弁護士などの暮らしに関する専門家が地域の方々と個別無料相談会でお話しし、一緒に問題を解決していきます。また、暮らしに役立つ講座では、地域資源やコミュニティを活用して精神的・経済的に豊かな生活を実現するための方法が学べます。人気の防災イベントでは、個人・企業単体のみならずコミュニティとしての防災意識を高め、緊急事態における損害を最小化し、活動を維持するためのBCP導入のきっかけとなります。北区がより暮らしやすい街になるよう一緒に盛り上げていきましょう！

▲赤羽セミナーの様子

2024年目標　環境負荷の低減と職場環境の改善の両立を目指します

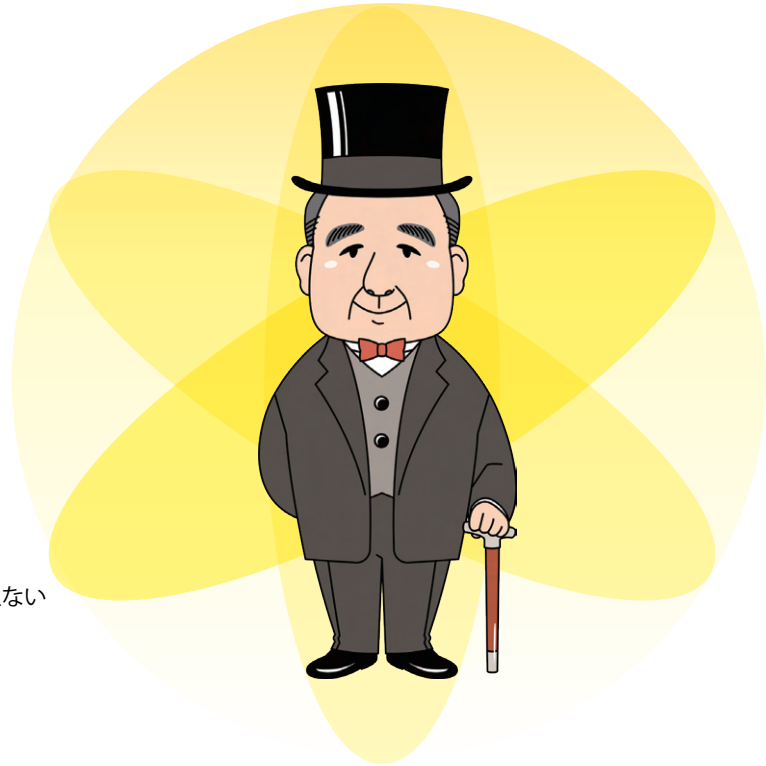
紙の書類を減らしデジタル化することで、保管庫である200本を超えるロッカーの本数を8割減らします。環境負荷を低減するとともに、空いたスペースを活用して職場環境の改善につなげたり、デジタル化でテレワーク等の多様な働き方が選択できるようになります。それにより生産的な働きがいのある職場環境を実現します。

▲ペーパーレスの取組で変わったオフィス内

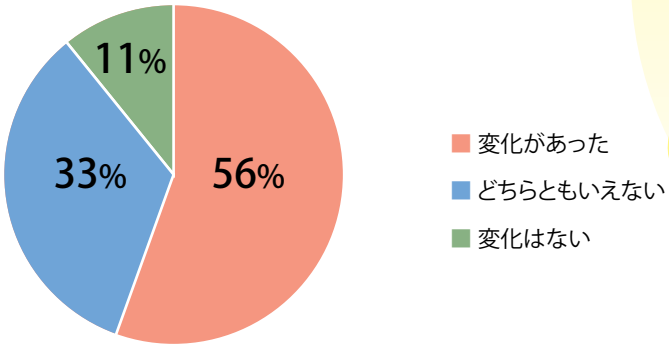
認証企業の声

SDGs経営に取り組む区内企業の工夫や課題などを共有することにより、地域の企業にSDGsの取組を広めることを目的としてアンケート結果を取りまとめました。

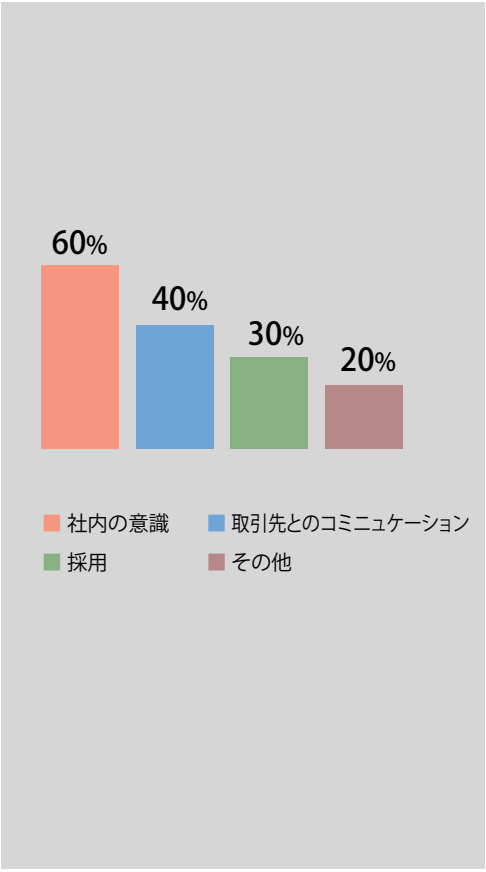
調査の概要
対 象 者：令和5年度認証企業26社
実施期間：R6年6月～7月
方　　法：アンケートフォームへの回答
回 答 数：26社中18社（回答率69%）



Q1 SDGs推進企業の認証を受けて変化はありましたか。

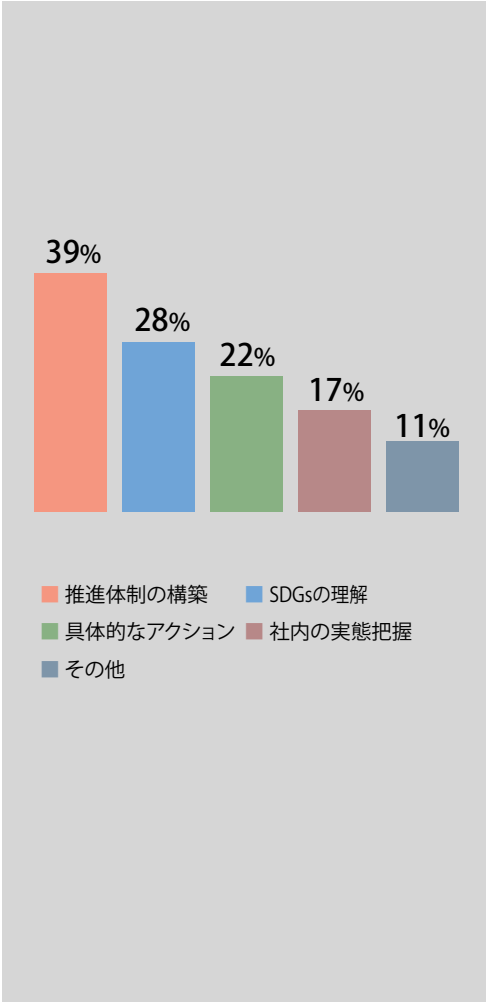


Q2 （Q1で“変化があった”を選択した方）どんな変化がありましたか。



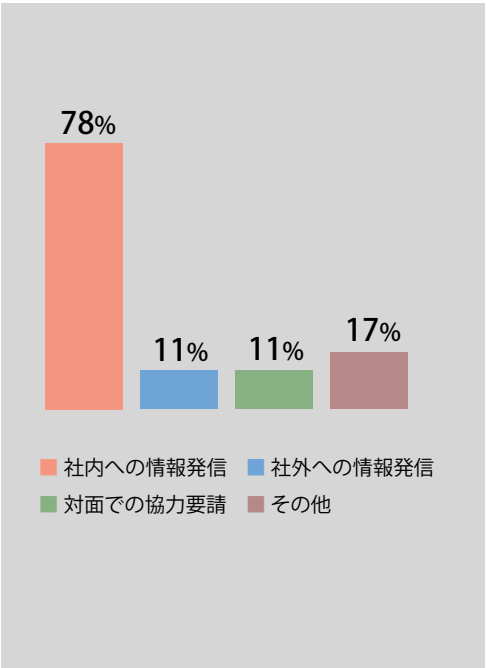
回答	割合	回答例
社内の意識	60%	・名刺に認証企業のロゴを付したことで、社員がSDGsについて考えるきっかけになった。 ・社員の社会貢献活動に取り組む姿勢が積極的になった。 ・（健康経営に取り組む企業において）社員の健康意識が上がった。
取引先とのコミュニケーション	40%	・名刺に認証企業のロゴを付したことで、取引先との打ち合わせで話題に上がり、アピールにつながった。 ・新聞、情報誌等で取り上げてもらったことで活動が周知され、新規取引（仕入れ、販売）の商談機会が増えた。
採用	30%	・就職活動中の学生を対象とした会社説明会で、SDGsに関する取組や今後のビジョンを説明することで、採用活動の強化につながっている。
その他	20%	・社内の環境を見直すきっかけとなった。 ・新聞や情報誌に取り上げられた。

Q3 組織にSDGsを取り入れるにあたり、何から始めましたか。



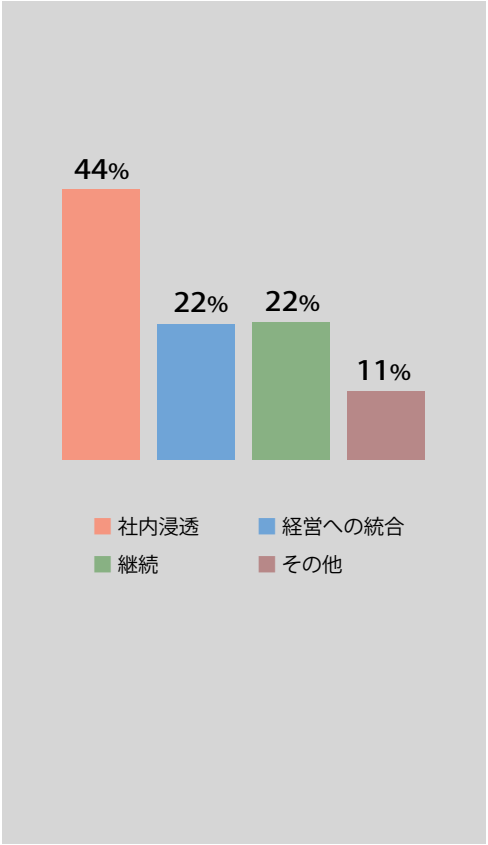
回答	割合	回答例
推進体制の構築	39%	・推進チームを設置し、SDGsについての意見交換会を実施した。 ・組織横断的なプロジェクトを立ち上げ、基本方針の策定やマテリアリティを特定した後、委員会を設置した。 ・SDGsの担当者を配置した。
SDGsの理解	28%	・17項目を理解することから始め、どんなことができるかリストアップした。 ・研修の実施（動画視聴、銀行系コンサルタントによるセミナー、部門長向け研修）
具体的なアクション	22%	・ターゲットとなる人材とつながる求人媒体の開拓 ・節電 ・太陽光パネルの設置 ・リサイクル
社内の実態把握	17%	・企業活動とSDGsとの関連性を整理 ・社内アンケート ・課題抽出
その他	11%	・個人で行っているSDGsの取組を募集し、社内へ公表する広報誌を発刊した。

Q4 SDGsの取組を推進するにあたり、社内の理解を得るために実施したことは何ですか。



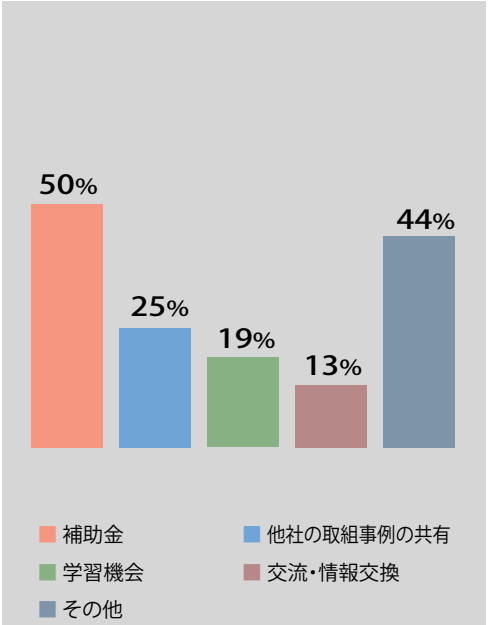
回答	割合	回答例
社内への情報発信	78%	・認証書などを社内の目につく場所に掲示 ・SDGsに関する基礎情報や、社内の取組とSDGsの関連性などについての、継続的な発信 ・社内のビジネスチャットツールを活用した発信
社外への情報発信	11%	・プレスリリース
対面での協力要請	11%	・会議や総会にてスタッフの理解を得る場を設置 ・社員への協力依頼と、実行により得られる効果の説明
その他	17%	・SDGsの取組について面談を実施 ・セミナーの参加 ・取り組みやすい目標の設定

Q5 SDGsの取組で困難だと感じる点は何ですか。



回答	割合	回答例
社内浸透	44%	・情報発信だけを行っても、社員一人一人に浸透させるには不十分。 ・理解を得られても行動に移してもらうのは難しい。 ・現場の理解が不可欠であるが、重要性をどう浸透させていくかが鍵。
経営への統合	22%	・SDGsを推進するにあたって発生する費用（人件費、設備導入費用等）の確保。 ・未来につながるかの検討判断 ・目先の事案や仕事上での判断にSDGsの概念を設け、自分事として考えられるか。
継続	22%	・SDGsに対する意識を継続すること。 ・業績悪化などの経営環境の変化によらず継続すること。
その他	11%	・自社のみで出来るSDGsの取組には限りがあり、推進したい取組によっては外部との連携が必要。 ・SDGsの取組の社内外への「見える化」

Q6 本認証制度に期待することは何ですか



回答	割合	回答例
補助金	50%	・補助金、助成金等の情報提供 ・SDGsに取り組むための資金的補助
他社の取組事例の共有	25%	・他社との目標や達成のための施策の共有 ・他社の取組における成功事例や失敗事例の共有
学習機会	19%	・最新情報の提供 ・環境やESGに関する先進企業や欧米企業の取組紹介、視察 ・SDGsに関する勉強会・講習会など
交流・情報交換	13%	・認証企業間の交流・情報交換 ・共同による取組
その他	44%	・企業や人材のマッチング、協働 ・公的なお墨付きを得ること ・認証制度のブランド価値向上 ・認証企業の宣伝

City of Kita

■ 発行日
令和6年12月

■ 発行者
北区地域振興部産業振興課
〒114-8503 東京都北区王子1-11-1 北とぴあ11階
Tel : 03-5390-1234　Fax : 03-5390-1141
URL : https://www.city.kita.tokyo.jp/

刊行物登録番号
6 - 1 - 075